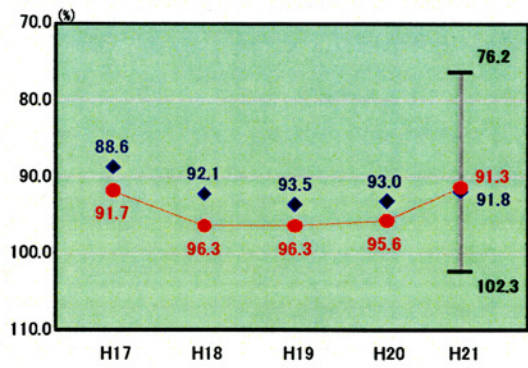


# 歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

## 経常収支比率の分析

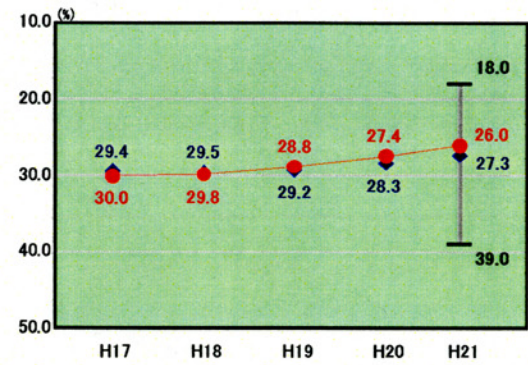
経常収支比率(合計)



● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
T 類似団体内の最大値及び最小値

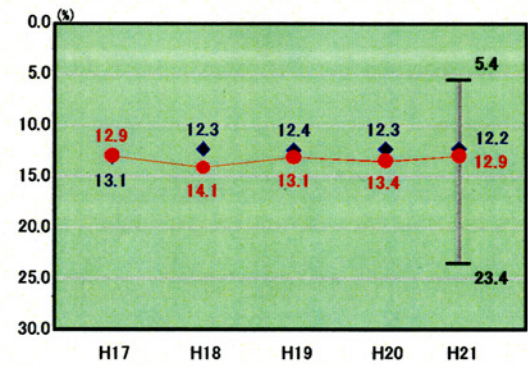
H21類似団体内順位 59/128  
全国市町村平均 91.8  
福岡県市町村平均 94.8

人件費



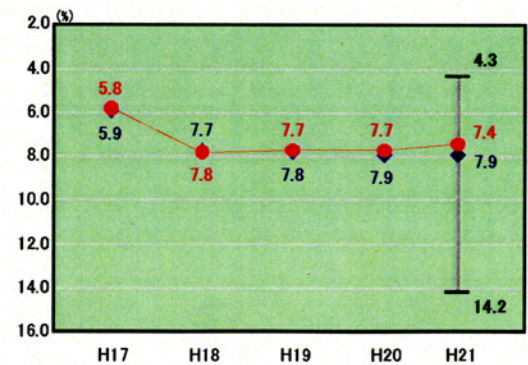
H21類似団体内順位 51/128  
全国市町村平均 26.7  
福岡県市町村平均 23.3

物件費



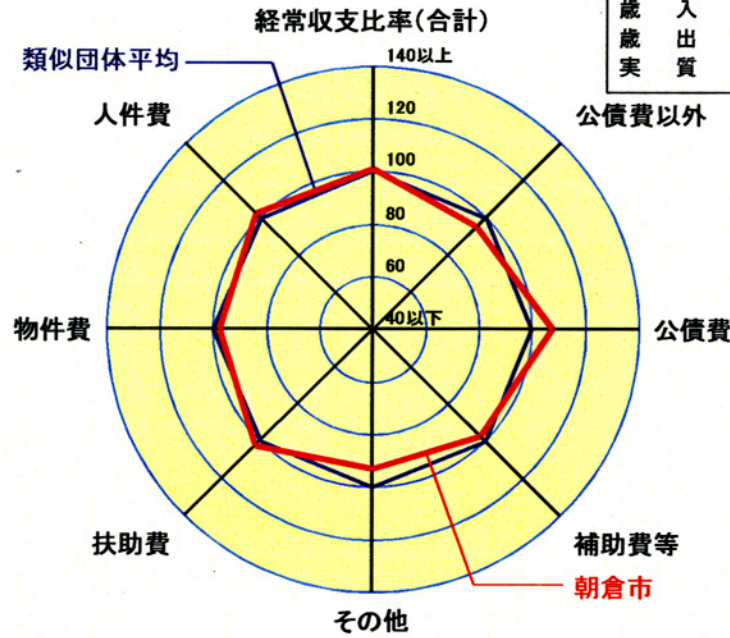
H21類似団体内順位 77/128  
全国市町村平均 13.0  
福岡県市町村平均 13.2

扶助費



H21類似団体内順位 47/128  
全国市町村平均 9.6  
福岡県市町村平均 12.0

人口	58,448人(H22.3.31現在)
標準財政規模	246.73km <sup>2</sup>
歳入総額	14,707,166千円
歳出総額	25,219,409千円
実質収支	302,183千円

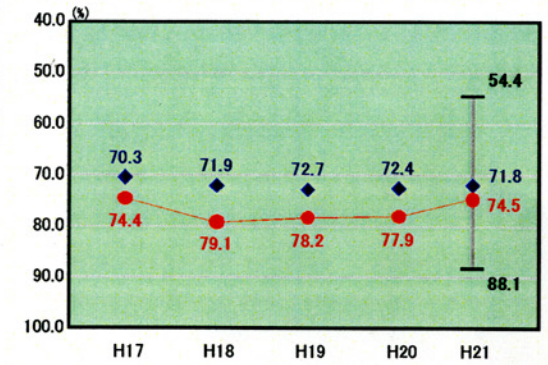


- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

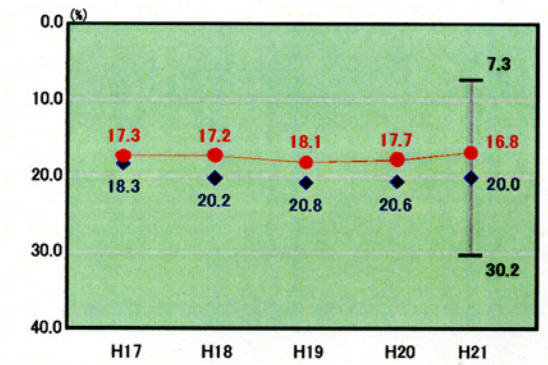
- 人件費  
職員数は合併後毎年減少しており、類似団体平均、全国市町村平均を下回っている。今後も朝倉市行政経営改革プラン(目標:平成29年度475人)や定員管理計画(平成18年度570人から平成22年度525人へ)を推進し、人件費の全体的な抑制に努める。
- 物件費  
比率は前年度に比べ0.5減と改善しているものの類似団体平均を上回っている。今後も職員削減に伴う臨時職員の賃金や民間委託推進に伴う委託料の増加が予想されるため、より一層の事務の効率化を進め経費の整理・縮小に努める。
- 扶助費  
比率は前年度に比べ0.3改善したが、生活保護費の増加により扶助費の総額は増加している。今後も生活保護費の増加などが予想されるので、資格審査等の適正化に努める。
- 公債費  
地方債残高の減少に伴い公債費も減少し、対前年度比0.9減で類似団体平均も下回っているが、合併特例事業推進による公債費の増加が見込まれるため、新規事業の必要性について十分精査を行い、地方債の新規発行額を当該年度の元金償還額以下に抑えるなど公債費の抑制に努める。また今後は公的資金だけでなく民間資金についても繰上償還を行い財政健全化に努める。
- 補助費  
前年度に比べ一部事務組合への補助が減額となったため、比率が1.5改善したものの依然類似団体平均を上回っている。各種団体への補助金については一定の見直しを行ったが、今後も更なる補助金の見直しに努める。
- その他  
その他に係る比率が類似団体平均を上回っているのは、下水道事業などの公営事業会計への繰出金が多額になっているためである。より一層の経費節減や料金の見直しを行い、繰出金の抑制に努める。
- 普通建設事業  
小学校の耐震化に伴う建替事業やまちづくり交付金事業、災害復旧事業が増加したことで、前年度に比べ9億6千万程度の増額となっている。今後も合併特例債を活用した事業を予定していることから、新規事業の必要性、優先度について十分な精査を行う。

公債費以外



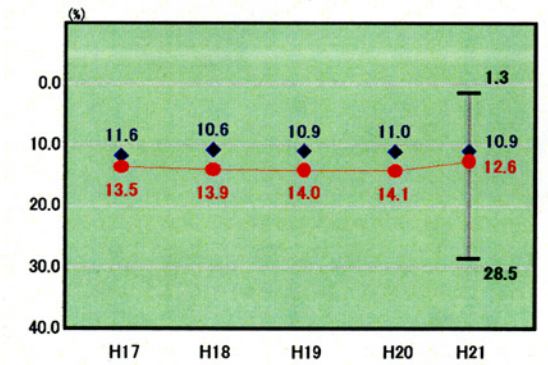
H21類似団体内順位 84/128  
全国市町村平均 71.9  
福岡県市町村平均 71.0

公債費



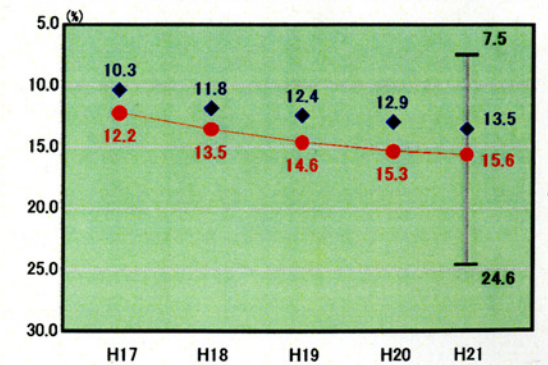
H21類似団体内順位 38/128  
全国市町村平均 19.9  
福岡県市町村平均 23.8

補助費等



H21類似団体内順位 76/128  
全国市町村平均 10.5  
福岡県市町村平均 11.2

その他



H21類似団体内順位 102/128  
全国市町村平均 12.1  
福岡県市町村平均 11.3